ルーマニア月報

2024 年 10 月号

本月報はルーマニアの報道をもとに，
日本大使館がとりまとめたものです。

令和 6 年 11 月 8 日
在ルーマニア日本国大使館作成

主要ニュース

【内政】

- 大統領選挙の第一回投票日は 11 月 24 日、決選投票日は 12 月 8 日。議会選挙は 12 月 1 日。
- 10 月 5 日、憲法裁判所はショショアカ SOS 党首の大統領選挙の立候補登録を取り消しとの判断。

【経済】

- 10 月 4 日、ルーマニア財務省は総額 330 億円のサムライ債の第 1 回発行を開始し、総額 341 億円の投資家からの購入注文が確定したと発表。
- 10 月 7 日、国家統計局は、2024 年第 2 四半期のルーマニアの 1 世帯当たり月平均所得が前年同期比 18.8%増の 8,210 レイ(約 1649 ユーロ）となった旨発表。
- 10 月 17 日、ユーロスタットは、ルーマニアの 2024 年 9 月の月間インフレ率は 4.8%と、EU 加盟国の中で最も高かった旨発表。
- 10 月 22 日、IMF は、2024 年のルーマニアの経済成長率を 4 月予測の 2.8%から 1.9%に下方修正。
- 10 月 26 日、ブルドゥジャ・エネルギー相は、ルーマニアが第 2 四半期に 23 億立方メートルのガスを生産し、EU 最大のガス生産国となった旨発表。

【外政】

- 10 月 10 日、オーストリアのカルナー内務相は司法内務理事会を前に、シェンゲン協定をルーマニアとブルガリアの陸路に適用する時期はまだ来ていない旨述べ反対を継続。

【防衛・安全保障】

- 10 月 3 日から 9 日の間、計 4 回のルーマニア空軍機による自国民退避等の任務が行われ、計 270 名の在レバノン・ルーマニア国民とその家族が、レバノンからルーマニアに退避。
- 10 月 17 日から 23 日にかけて、航空目標物が黒海からルーマニア南東部コンスタンツァなどに侵入。

【我が国との関係】

- 10 月 8 日、片江大使は、新任のスチウ下院議長を表敬訪問。
- 10 月 9 日、片江大使は、ルーマニア日友好議員連盟メンバーの二人、ツォイウ下院副議長およびバデア議員と会談。
- 10 月 21 日、片江大使はオラデア市を訪問し、ボロジャン・ビホール県議会議長及びビルタ・オラデア市長を表敬。

内政

- **大統領選挙・議会選挙の日程**
  - 大統領選挙（第一回投票）
    10 月 25 日～11 月 23 日　選挙活動期間
    11 月 22 日～24 日　在外投票日（22 日、12:00～21:00、23～24 日 7:00～21:00）
    11 月 24 日　国内投票日（7:00～21:00）
  - 大統領選挙（決選投票：第一回投票で過半数を得た候補者がいない場合、上位 2 名が決選投票に進出）
    11 月 29～12 月 7 日　選挙活動期間
    12 月 6 日～8 日　在外投票日（6 日、12:00～21:00、7～8 日、7:00～21:00）
    12 月 8 日　国内投票日（7:00～21:00）
  - 議会選挙
    10 月 17 日　上下院候補者リストの提出期限
    11 月 1 日～30 日　選挙活動期間
    11 月 30 日～12 月 1 日　在外投票日（両日、7:00～21:00）
    12 月 1 日　国内投票日（7:00～21:00）

- **憲法裁判所による判断（ショショアカ SOS 党首の大統領選挙への出馬取り消し）**
  - 10 月 5 日、憲法裁判所は多数決により、2 名による申し立てを受理し、今年の大統領選挙におけるショショア欧州議員（SOS ルーマニア党首）の大統領候補登録を取り消すことを決定。
  - 憲法裁判所裁判官 9 名のうち、PSD 推薦の裁判官 4 名と UDMR が推薦した裁判官 1 名が賛成（出馬取り消し）し、PNL が推薦した裁判官 1 名と大統領が推薦した裁判官 1 名が反対し、5 対 2 の評決。残りの 2 名は棄権。
  - 10 月 3 日、ショショアカ欧州議員が立候補を届け出たところ、元 SOS 党員 2 名が同人の立候補の署名（偽造の告発）とショショアカ欧州議員が「憲法秩序に対する脅威」として、中央選挙委員会に異議申し立てを行ったが却下されたため、憲法裁判所に判断をゆだねたもの。
  - 10 月 5 日（立候補可能な最終日）、ショショアカ欧州議員は中央選挙委員会に再度立候補関連書類を提出したが却下。
  - 10 月 7 日、チウカ上院議長（PNL 党首）は PSD との連立政権はここで停止するが PSD の越権行為を防ぐためにのみ、我々は政権にとどまると発言。

- **世論調査の結果**
  - INSCOP による世論調査（調査実施期間 10 月 11～18 日、対象者：1,106 名、統計上の誤差は±2.95%）
    - ✧ 大統領選挙（第 1 回投票）：チョラク首相（PSD） 24.1%、シミオン AUR 党首（AUR） 20.7%、ジョアナ前 NATO 事務次長（無所属）18.1%、ラスコーニ・クンプルング市長・USR 党首（USR）15.0%、チウカ上院議長（PNL） 8.2%、ディアコネスク元外相（無所属）5.1%、ケレメン・フノール UDMR 党首（UDMR）3.8%
    - ✧ 大統領選挙（決選投票）：
      チョラク首相（PSD）56.0% 対 シミオン AUR 党首 44.0%
      ジョアナ前 NATO 事務次長（無所属）55.6% 対 チョラク首相（PSD） 44.4%
      チョラク首相（PSD） 53.0% 対 ラスコーニ・クンプルング市長・USR 党首 47.0%
      チョラク首相（PSD）63.1% 対 チウカ上院議長（PNL）36.9%

✧ 議会選挙：PSD 30.2%、AUR 21.4%、PNL 13.2%、USR 12.7%、SOS8%、UDMR3.7%

➢ BCS による世論調査（調査実施期間 10 月 24～28 日、対象者：1,150 名）

✧ 大統領選挙：チョラク首相（PSD） 23.4%、チウカ上院議長（PNL） 17.1%、シミオン AUR 党首（AUR） 16.1%、ラスコーニ・クンプルング市長・USR 党首（USR）14.7%、ジョアナ前 NATO 事務次長（無所属）10%、ディアコネスク元外相（無所属）7.2%、ケレメン・フノール UDMR 党首（UDMR）4.6%

✧ 議会選挙：PSD 31%、PNL 20.5%、AUR 17.6%、USR 16.5%、UDMR 6.5%、AFD 3.1%、SOS 2%

【政党略称】PSD：社会民主党、PNL：国民自由党、AUR：ルーマニア人統一同盟、UDMR：ハンガリー人民主同盟、USR：ルーマニア救国同盟、PUSL：社会自由ヒューマニスト党、AFD:右派の力連合

経済

（1）主要経済統計とりまとめ（国家統計局、財務省、ルーマニア中央銀行　発表とりまとめ）

● **国家統計局　（INS）**

	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9
貿易収支（億€）	-66.990	-93.209	-122.883	-150.901	-180.394	-209.199	N.A.
消費者物価指数(%)	6.61	5.90	5.12	4.94	5.42	5.10	4.62
失業率（%）	5.2	5.3	5.4	5.5	5.4	5.5	5.5
平均グロス給与（€）	1,710	1,717	1,681	1,706	1,726	1,699	N.A.
平均ネット給与（€）	1,043	1,050	1,030	1,041	1,054	1,038	N.A.

● **財務省　（MF）**

	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9
財政収支（億 lei）	358.790	572.906	601.042	636.656	710.418	808.702	962.369
GDP 比（%）	-2.06	-3.24	-3.40	-3.60	-4.02	-4.57	-5.44

● **ルーマニア中央銀行（BNR）**

	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9
政策金利（%）	7.00	7.00	7.00	7.00	6.75	6.50	6.50
外貨準備高（億€）	642.79	625.11	650.72	643.92	635.79	631.87	657.78
経常収支（億€）	-39.45	-65.76	-91.75	-121.76	-151.78	-178.58	N.A.
前年同期　（億€）	-39.64	-51.91	-68.79	-90.87	-113.28	-138.30	N.A.
FDI（億€）	20.95	32.30	33.42	32.19	31.21	41.39	N.A.
前年同期（億€）	22.16	24.08	24.65	28.01	39.67	43.82	N.A.
前年同期比（%）	-5.46	+34.13	+35.57	+14.92	-21.32	-5.54	N.A.
中長期対外債務(億€)	1290.63	1267.98	1309.97	1306.62	1318.51	1333.89	N.A.
前年末比（%）	+6.0	+4.1	+7.6	+7.3	+8.3	+9.2	N.A.
短期対外債務（億€）	486.63	450.89	447.56	461.95	484.79	491.35	N.A.
前年末比（%）	+0.7	-6.7	-7.4	-4.4	+0.3	+6.3	N.A.

- **消費者物価指数（国家統計局（INS）・ユーロスタット）**

	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9
消費者物価指数(%)	6.61	5.90	5.12	4.94	5.42	5.10	4.62
食料品価格(%)	2.81	2.07	1.24	1.10	1.71	4.25	4.72
非食量品価格(%)	8.06	7.17	6.38	6.28	6.92	4.35	3.30
サービス価格(%)	10.20	10.05	9.29	8.81	8.52	8.60	7.88
ユーロ圏平均	2.4	2.4	2.6	2.5	2.6	2.2	1.7
EU27 カ国平均	2.6	2.6	2.7	2.6	2.8	2.4	2.1

- **業種別（前年同期比）（国家統計局（INS）・ユーロスタット）**

	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9
鉱工業							
工業生産高（%）	2.8	3.6	-6.5	0.5	-3.9	-2.0	N.A.
工業売上高(名目)（%）	-0.5	18.8	-7.1	2.8	10.5	4.2	N.A.
工業製品物価指数（%）	-7.9	-4.0	-1.0	1.1	2.6	2.7	-1.7
新規工業受注高(名目)（%）	-5.2	8.5	-7.2	-3.4	7.5	2.7	N.A.
小売業							
小売業売上高(除:自動車・バイク)（%）	4.3	9.5	6.1	10.0	7.4	9.2	N.A.
自動車・バイク売上高(%)	0.9	11.4	-3.3	-0.4	2.3	2.7	N.A.
小売業売上高 ユーロ圏平均(%)	0.7	0.0	0.3	-0.3	-0.1	0.8	N.A.
小売業売上高 EU 平均(%)	2.0	-0.1	0.6	0.1	0.4	1.0	N.A.
建設業							
工事(%)	-1.2	13.1	-1.7	-0.4	-2.3	-2.0	N.A.

（2）主要経済関連

- **ルーマニア中央銀行（BNR）、金融政策金利を 6.50%に据え置くことを決定**
  - 10 月 4 日、BNR は金融政策金利を 6.5%に据え置くことを決定した。2023 年 1 月から 7.00%に据え置かれていた政策金利は、2024 年に入り 6 月に 6.75%へ、8 月に年 6.50%へと引き下げられた。
- **1 世帯当たり平均所得は 8,210 レイ、前年同期比 18.8%増**
  - 10 月 7 日、国家統計局（INS）は、2024 年第 2 四半期のルーマニアの 1 世帯当たり月平均所得は名目ベースで 8,レイ 210 レイとなり、前期比 2%増、前年同期比 18.8%増となった旨発表した。
- **最低賃金、2025 年 1 月に 4,050 レイに**
  - 10 月 16 日、チョラク首相は、2025 年 1 月からルーマニアの最低賃金は 4,050 レイとなる旨発表した。なお、最低賃金における 300 レイの非課税措置は継続される。これは、ルーマニアの最低賃金が欧州最低賃金の 47～52%でなければならないとする欧州指令を尊重するためのものである。
- **ルーマニア、2024 年 9 月の月間インフレ率が 4.8%、EU 最高**
  - 10 月 17 日、ユーロスタットは、ルーマニアの 2024 年 9 月の月間インフレ率は 4.8%と、EU 加盟国の中で最も高かった旨発表した。最も低かったのはアイルランド（0.0%）、リトアニア（0.4%）、スロベニア、イタリア（ともに 0.7%）で、最も高かったのはルーマニア（4.8%）、ベルギー（4.3%）、ポーランド（4.2%）だった。2024 年 8 月と比較して、インフレ率は 20 カ国で低下し、2 カ国で横ばい、5 カ国で上昇した。
  - なお、10 月 11 日発表の INS による統計では、9 月のルーマニアのインフレ率は 4.62%（8 月：5.1%）。

- **国際通貨基金（IMF）、2024 年のルーマニアの経済成長率予測を 1.9%に下方修正**
  - 10 月 22 日、IMF は、2024 年のルーマニアの経済成長率を 4 月予測の 2.8%から 1.9%に下方修正した。新しい IMF の予測によると、ルーマニア経済は昨年 2.1%の成長を遂げた後、今年は 1.9%まで減速し、その後 2025 年には 3.3%まで加速するとの見込み。なお、IMF は 2024 年春に 2024 年のルーマニアの GDP を 2.8%増と予想したが、この数字は 2023 年秋の事前予測 3.8%増から下方修正されたものだった。

（3）エネルギー関連ニュース

- **ルーマニアとモルドバのエネルギー大臣が覚書に調印**
  - 10 月 24 日、ブルドゥジャ・エネルギー相は、モルドバの首都キシナウにおいて、モルドバのパルリコフ・エネルギー相とともに両国のエネルギー分野におけるイノベーションを促進するための共同プロジェクトおよびパートナーシップの開発に関する覚書に署名し、ルーマニアによるエネルギー安全保障の強化とモルドバ共和国の欧州エネルギー市場への統合のためにこれまで献身的に取り組んできたプロセスの継続を改めて表明した。
- **ルーマニア、2024 年第 2 四半期の天然ガス生産量が EU 最大に**
  - 10 月 26 日、ブルドゥジャ・エネルギー相は、ルーマニアが第 2 四半期に 23 億立方メートルのガスを生産し、EU 最大のガス生産国となったと発表した。これまで EU 最大の天然ガス生産国だったオランダの同期生産量 22 億立方メートルを抜いた。同期間中、ユーロスタットのデータによれば、ルーマニア国民は 4 番目に安いガス価格の恩恵を受けた。
    2027 年以降、黒海ガス田（ネプチューンディープ）からの天然ガスの生産により、ルーマニアのガス生産量は倍増しガス価格は改善され、経済への投資も増え、地域全体がロシアのガスへの依存度を下げることができる見込み。
- **チェルナヴォーダ原発 3･4 号機の開発契約、2024 年 11 月調印へ。2032 年までに 1400 メガワット**
  - 10 月 28 日、ブルドゥジャ・エネルギー相は、Nuclearelectrica 社が 100%所有する EnergoNuclear 社が、2024 年 11 月に開催される国連気候変動枠組条約の第 29 回締約国会議（COP29）期間中に、米エネルギーエンジニアリング会社である Fluor 社と Sargent & Lundy 社、加 Atkins Realis 社、伊 Ansaldo 社で構成されるコンソーシアムとの間で、チェルナヴォーダ発電所の 3 号機及び 4 号機の設計・調達・建設管理（EPCM）契約に署名する予定である旨発表した。これが実現すれば体制転換以来最大のエネルギー投資プロジェクトとなる見込み。資金の大部分は、米、加、伊から拠出される。原子炉は、すでに稼働している 1・2 号機と同様、加 Atkins Realis 社の CANDU 技術が使用される。チェルナヴォーダ原子力発電所は現在、ルーマニアの電力需要の約 20%を賄っている。
    1 号機と 2 号機の設備容量はそれぞれ 700MW。

（4）日本関連ニュース

- **ルーマニア、日本資本市場で初のサムライ・グリーンボンドを発行**
  - 10 月 4 日、ルーマニア財務省は総額 330 億円のサムライ債の第 1 回発行を開始し、総額 341 億円の投資家からの購入注文が確定したと発表した。ボロシュ財務大臣は、「ルーマニアが日本の資本市場において初めて発行した約 2 億ユーロのサムライ・グリーンボンドは、投資家の間で成功を収め、日本の投資家とルーマニアの架け橋となった。この取引全体をグリーンボンドとして発行することにより、ルーマニア財務省は、一方では、これらの債券のさらなる魅力を創出し、他方では、国内外の政策に沿った国家目標である気候変動緩和の分野における戦略的プロジェクトの実施に必要な資金を確保した。この初となるサムライ債の発行は、ルーマニア経済の将来性に対する国際投資家の信頼を反映したものである。」旨述べた。

外政

（1）ウクライナ関連

- **オドベスク外相、クロアチア・ドブロブニクで開催されたウクライナ・南東欧サミットに出席**
  - 10 月 9 日、オドベスク外相は、クロアチア・ドブロブニクで開催されたウクライナ・南東欧サミットに出席した。サミットはゼレンスキー・ウクライナ大統領及びプレンコビッチ・クロアチア首相の共催で、南東欧諸国の首脳や外相等が出席した。会合後の共同声明では、各国がウクライナの豊かな未来を確保するために必要な財政支援、投資、専門知識を確保することを目的として、民間企業や国際金融機関を含むすべての関連パートナーを巻き込みながら、ウクライナの人々が自国を再建できるよう、現在進行中及び戦後のウクライナの復興と再建に参加し続けることへのコミットメントを表明した。

（2）要人往来

- **チョラク首相、モルドバを公式訪問**
  - 10 月 4 日、チョラク首相はモルドバ共和国を公式訪問し、マイア・サンドゥ・モルドバ共和国大統領、ドーリン・レセアン首相、イーゴリ・グロス・モルドバ議会議長と会談した。モルドバ共和国が欧州の道を歩むことは、モルドバ市民の幸福につながるが、ロシアはモルドバ共和国にとって何の保証もない旨共同声明の中で述べた。

（3）国際関係

- **オーストリア、ルーマニアの陸路シェンゲン加盟に再び反対**
  - 10 月 10 日、オーストリアのカルナー内務相は司法内務理事会を前に、オーストリアとハンガリーの国境を例に挙げながら、ルーマニアとブルガリアの国境管理については進展が見られるものの、シェンゲン協定の陸路への適用をする時期はまだ来ていない旨述べた。
  - その一方で、ルーマニア・プレドイウ内務相はルーマニアがシェンゲン協定に陸路国境を含めて加入する準備が完全に整っている旨表明した。

防衛・安全保障

（1）事案・イベント等

- **ルーマニア軍、レバノンからの自国民退避任務等を実施**
  - 10 月 3 日から 9 日の間、計 4 回のルーマニア空軍機による自国民退避等の任務が行われ、計 270 名の在レバノン・ルーマニア国民とその家族が、レバノンからルーマニアに退避した。
    10 月 3 日：69 名の在レバノン・ルーマニア国民とその家族が、ルーマニアに到着。
    10 月 4 日：新たに 74 名の在レバノン・ルーマニア国民とその家族が、ルーマニアに到着。
    ※ 往路でレバノン向けの約 10 トンの食料品を空輸。
    10 月 7 日：新たに 69 名の在レバノン・ルーマニア国民とその家族が、ルーマニアに到着。
    10 月 9 日：新たに 58 名の在レバノン・ルーマニア国民とその家族が、ルーマニアに到着。
- **航空目標物、黒海からルーマニア南東部コンスタンツァなどに侵入**
  - 10 月 17 日、19 日及び 23 日、ルーマニア軍は黒海海域に小型の航空目標物を捉えた。コンスタンツァ県やトゥルチャ県など、最大で 19km ルーマニア領土の上空に侵入され、いずれも途中でレーダー信号は消失した。
  - また、ルーマニア空軍やスペイン空軍の戦闘機が確認のために離陸したが、航空目標物を目視で確認はできなかった。
- **新たな軍事機動回廊の設立へ**
  - 10 月 17 日、トゥルヴァル国防大臣は、ルーマニア、ブルガリア、トルコ間の軍事機動回廊設立に関する意向書に署名した。
  - この構想は、黒海地域の安全保障を確保するための NATO の取組に不可欠な支援を提供し、同地域における連結性と迅速な対応能力を向上させること、兵員、装備品、軍事物資の迅速かつ安全な輸送を確保するため、3 か国間の主要補給路の調整されたネットワークを確立することを目的としている。
  - また、10 月 18 日には、アルバニア、ブルガリア、イタリア、北マケドニアと並んで、欧州一体の軍事機動回廊に関するルーマニアの加盟文書にも署名した。これにより、NATO 加盟国間の軍隊と装備の移動を確保し、黒海地域における対応能力が強化される。
- **ルーマニアからのパトリオットミサイル、ウクライナ到着を確認**
  - 報道によれば、10 月 3 日、ルーマニア国防省報道官は、「（ルーマニアの）パトリオット・ミサイルシステムがウクライナに到着したことを確認した」と述べた。

（2）訓練・演習等

- **予備役の動員演習 MOBEX BZ-IL-24 を実施**
  - 10 月 14 日から 18 日にかけて、ブザウ県とヤロミッツァ県の予備役に対して、動員と技量の能力確認のための演習が実施された。この様な演習は 10 年以上ぶりとなる。
- **多国籍演習 DACIAN FALL 2024 を実施**
  - 10 月 14 日から 31 日にかけて、多国籍演習 DACIAN FALL 2024 がチンク、スマルダン、カプミディア及びボガタの各演習場において、ベルギー、フランス、ルクセンブルク、北マケドニア、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、米国の兵士約 1500 名が参加して実施された。

（3）会談等

- **国防大臣、ポルトガル国防大臣と会談**
  - 10 月 2 日、トゥルヴァル国防大臣はポルトガルの国防大臣と会談し、黒海地域や NATO 全体の防衛態勢など両国の防衛・安全保障問題について協議した。

- **国防大臣、ボスニア・ヘルツェゴビナ国防大臣と会談**
  - 10 月 9 日、トゥルヴァル国防大臣はサラエボにおいて、ボスニア・ヘルツェゴビナの国防大臣と会談し、地域の安全保障、特に EU の軍事ミッションである EUFOR ARTHEA における協力に焦点を当てて協議した。
- **国防大臣、NATO 国防大臣会合に出席**
  - 10 月 17 日から 18 日にかけて、トゥルヴァル国防大臣はブリュッセルにおける NATO 国防大臣会合に出席し、NATO の防衛計画の実施に必要な兵力と能力の確保に焦点を当て、NATO の抑止力と防衛態勢の適応を加速させるための継続的な努力の重要性を強調した。
- **国防大臣、アルバニア国防大臣と会談**
  - 10 月 18 日、トゥルヴァル国防大臣はブリュッセルにおいて、アルバニアの国防大臣と会談し、西バルカン諸国の安全保障状況、ロシアのウクライナ侵略、NATO 協力、二国間関係の強化などについて協議した。
- **国防大臣、イスタンブールでトルコ防衛装備庁長官と会談、防衛装備品展示会に出席**
  - 10 月 18 日、トゥルヴァル国防大臣はイスタンブールにおいて、トルコ防衛装備庁長官と会談しトルコの無人機の導入などの成果を強調するとともに、防衛装備品展示会 SAHA EXPO 2024 に参加した。

（4）人員・装備品・防衛産業など

- **トルコから約 1000 台の装甲車両を購入**
  - 10 月 5 日の報道によれば、ルーマニアはトルコ Otokar 社から 1059 台のコブラ軍用装甲車両を合計 9 億 3400 万米ドルで購入した。
- **米国から空域監視用レーダーを購入予定**
  - 10 月 7 日の国防省発表によれば、米国は空域監視用レーダーシステムのルーマニアへの販売を承認した。ルーマニアは、米国国務省が販売を承認した後、センチネル AN/MPQ-64F1 レーダーシステムを 4 基購入する予定である。
- **海軍艦艇 5 隻を購入予定**
  - 10 月 8 日の報道によれば、ルーマニア海軍向けの 2 隻の海洋巡視船と 3 隻のフリゲート艦（小型駆逐艦）の建造に関して契約が行われた。
- **スペイン海兵隊部隊がルーマニアに増強**
  - 10 月 10 日の報道によれば、スペインの海兵隊歩兵旅団の兵士 200 名以上と約 40 台の車両が、ルーマニアのチンク駐屯地に到着した。NATO 東翼の防衛任務に就くフランスが率いる多国籍大隊に編入され、スペインからは初の増強部隊となった。
- **ノルウェーから追加の F-16 戦闘機 3 機が到着**
  - 10 月 24 日、クンピア・トゥルジー（第 71 空軍基地）にノルウェーから 3 機の F-16 戦闘機が到着した。これによりノルウェーから購入した 32 機のうち 12 機が到着したことになる。

我が国との関係

（1）二国間関係全般

- **片江大使によるスチウ下院議長表敬訪問**
  - 10 月 8 日、片江大使は、新任のスチウ下院議長を表敬訪問し、2023 年に戦略的パートナーシップに格上げされた両国関係の強化のための協議を行った。両者は議会間交流の重要性を強調し、スチウ議長の地元ビストリツァのコンサートホールに日本からピアノが寄贈されたエピソード等が披露された。

- **片江大使によるツォイウ下院副議長及びバデア議員への表敬訪問**
  - 10 月 9 日、片江大使は、ルーマニア日友好議員連盟メンバーの二人、ツォイウ下院副議長およびバデア議員と会談し日本・ルーマニア戦略的パートナーシップの強化と、議会レベルでの二国間協力の促進について、意見交換を行った。

- **片江大使のボロジャン・ビホール県議会議長及びビルタ・オラデア市長表敬**
  - 10 月 21 日、片江大使は、オラデア市訪問の際に、ボロジャン・ビホール県議会議長及びビルタ・オラデア市長を表敬訪問した。会談では、経済、文化、教育、人的交流分野における日本とオラデア市の協力関係の推進・強化、大阪・関西万博の際のオラデア市からのミッション派遣可能性の検討の他、経済・文化交流に関し、様々なテーマの有意義な意見交換が行われた。また、ボロジャン議長からは、オラデア市の発展の上で日本の企業経営の哲学・概念が貢献したことを評価する旨の発言があった。

（2）広報･文化関係

- **国際交流基金展示会「美しい東北の手仕事展」の開催**
  - 在ルーマニア日本国大使館は、ヤシ市モルドバ国立博物館複合施設の民族誌博物館及び国際交流基金との共催で 10 月 9 日（水）から 12 月 8 日（日）まで、国際交流基金事業巡回展「美しい東北の手仕事展」を開催。展示では 2011 年の大地震及び津波で被災した東北地方に伝わる手仕事の美しさを、陶芸、漆芸、染織、金工、木竹工など多岐にわたるジャンルの作品で紹介する。
  - 10 月 24 日には開会式が開かれ、片江大使が出席した。会場にはヤシ市長を含めた招待客の他、一般客や地元の報道機関等も訪れ、日本文化への関心の高さがうかがえた。